

平成24年1月10日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 相川 法男
(TEL：078-302-7075)

研究成果最適展開支援事業「A-STEP」採択に関するお知らせ

当社は、別紙の通り、当社及び北里大学 北里生命科学研究所（所長：中山哲夫、所在地：東京都港区）において共同で実施している研究課題である「マラリアキナーゼを標的とした新規マラリア治療薬の開発研究」が、独立行政法人科学技術振興機構の研究成果最適展開支援事業「A-STEP」の一つである「平成23年度第2回A-STEPフィージビリティスタディ シーズ顕在化タイプ」に、平成24年1月10日付で採択されましたのでお知らせいたします。

なお、本研究課題のA-STEPへの採択が、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

平成24年 1 月10日

関係者 各位

カルナバイオサイエンス株式会社

研究成果最適展開支援事業「A-STEP」採択に関するお知らせ

カルナバイオサイエンス株式会社（代表取締役社長：吉野公一郎、本社：神戸市中央区、以下「当社」という）は、北里大学 北里生命科学研究所（所長：中山哲夫、所在地：東京都港区、以下「北里研究所」という）と共同研究を行っている研究課題「マラリアキナーゼを標的とした新規マラリア治療薬の開発研究」（以下「本研究課題」という）が、独立行政法人科学技術振興機構（以下「JST」という）の研究成果最適展開支援事業「A-STEP」の一つである「平成23年度第2回A-STEPフィージビリティスタディ シーズ顕在化タイプ」（以下「FSシーズ顕在化タイプ」という）に、平成24年1月10日付で下記のとおり採択されましたのでお知らせいたします。

記

1. 採択課題の概要

マラリアとは、ハマダラカという蚊に刺されることによってマラリア原虫が体内に侵入し罹患する原虫感染症で、現在、アフリカ、東南アジア等の熱帯、亜熱帯地域の開発途上国で流行しています。日本においても、海外から帰国した人が感染した例（いわゆる輸入感染症）が年間100例以上報告されています。マラリアの症状は主に発熱ですが、なかでも熱帯熱マラリア原虫によるマラリアは症状が重く、脳マラリアによる意識障害や腎不全などを引き起こし死亡するケースが多くあります。世界中での推定感染者数は約2.5億人、年間死者数は約83万人に及ぶことから、さまざまな研究機関において精力的に研究がなされてまいりましたが、未だワクチンが開発されていません。さらに既存薬に対する薬剤耐性マラリア原虫や薬剤抵抗性ハマダラカの出現により、マラリアが再興感染症として再び大きく取り上げられる疾病となっています。WHOによると世界人口の約半数が、蚊を媒介とするマラリアの危険にさらされており、WHOは国際的な緊急課題として、薬剤耐性熱帯熱マラリア原虫に有効かつ新規な構造及び作用機序を有し、経口で有効なマラリア治療薬の開発を掲げています。

北里研究所では、従来よりWHO/TDRの研究協力機関として薬剤耐性マラリア原虫に有効な新規抗マラリア薬の研究開発を行っており、近年のマラリア原虫のゲノム解析から、マラリア原虫のプロテインキナーゼ（以下「マラリアキナーゼ」という）が抗マラリア薬の創薬標的となりうることに着目していました。一方、当社はキナーゼに特化して創薬研究を行っていることから、北里研究所と当社は、新規メカニズムに基づく新しいマラリア治療薬の開発をめざし、昨年度からマラリアキナーゼを標的とした新規マラリア治療薬の共同研究を開始しておりました。今回採択されましたJSTの研究成果最適展開支援事業「A-STEP」の「FSシーズ顕在化タイプ」では、新規マラリア治療薬のシーズ化合物を探索・検証するために、当社が保有する独自のキナーゼフォーカスライブラリのスクリーニング及びヒット化合物の構造展開を1年間かけて行う予定です。

当社では、ガンや認知症など、21世紀に残された難病に加えて、地球温暖化による新しい感染症や再興感染症の蔓延に備えて、積極的にこれらの疾患治療薬の開発に取り組んでまいります。

2. 「A-STEP」について

「A-STEP」(Adopted and Seamless Technology Transfer Program through Target-driven R&D)は大学・公的研究機関等(以下「大学等」という)で生まれた研究成果を基にした実用化を目指すための幅広い研究開発フェーズを対象とした技術移転支援制度です。今回、北里研究所との共同研究が研究課題として採択されたFSシーズ顕在化タイプは、「産業界の視点から見出された、大学等の研究成果に潜在しているシーズ候補について、産学共同で企業ニーズにつながるシーズとなる可能性の有無を検証」することを支援の目的としており、大学等の研究者と企業との共同申請が対象となります。

A-STEPの概要及び採択課題の一覧等については、JSTのA-STEPのホームページ(下記アドレス)をご参照ください。

<http://www.jst.go.jp/a-step/outline/index.html>

<http://www.jst.go.jp/a-step/kadai/h23-2fs.html>

3. 本研究課題の採択が業績に与える影響について

本研究課題の採択が当社グループの連結業績に与える影響については軽微であります。

以 上

(ご参考)

北里研究所の概要

- (1) 名 称： 北里大学 北里生命科学研究所
- (2) 所 長： 中山 哲夫
- (3) 所 在 地： 東京都港区白金5丁目9番1号
- (4) 設 立 年 月： 平成13年4月
- (5) 事 業 内 容： 生命科学領域の基礎研究・応用研究と高度専門教育
- (6) WEB サ イ ト： <http://www.kitasato-u.ac.jp/lisci/index.html>
- (7) 当社との関係： 人的、資本的、取引関係は一切ありません。

【本件に関する問い合わせ先】

カルナバイオサイエンス株式会社

経営企画部 IR担当

TEL：078-302-7075